



1 月は長かったですか？あっという間でしたか？お正月は遠い昔のような気もするし、体調を崩したり、大雪が降ったり。いつも通りじゃない日が多かったのではないのでしょうか。でも、体調を崩したから、人の温もりを感じて“家族”を感じた時間もあったかもしれない。雪かきは大変でクルマは大渋滞だったけれど、無邪気に白さと“たわむれる”子ども達の姿に、大人も、ちょっと“はしゃいで”息が上がったかもしれない。けっこう絵になる時間が多かったのではないですか？

「面倒くさいな、と思えるときこそ充実しているんだ」と、あの有名な映画監督が言っていました。ならば今月も、程よく「面倒くさいなあ」と笑って過ごせる月になるといいですね。



## —2 月・3 月の予定—



2 月 6 日 (火)	地域連携日 (児童・放デイ共お休みです。)
2 月 20 日 (火)	ST (児童)
2 月 22 日 (木)	ドクターN の医療相談 (14:00~16:00)
3 月 7 日 (水)	ST (児童)
3 月 未 定	お別れ会 (放デイ) ※利用日内で行います
3 月 24 日 (土)	卒園式 (児童) 10:00~ (予定)
3 月 30 日 (金)	新年度準備のためお休みです (児童・放デイ共)

## ＝お知らせ＝

### 《30 年度の利用について》

\*利用希望の提出、ありがとうございます。今後、個別で曜日調整等をお願いする場合もあるかと思えます。よろしくお願いします。



### 《卒園式&お別れ会について》



\*児童の卒園式は 3 月 24 日 (土) に。放デイのお別れ会は 3 月の子ども達それぞれの最終利用日に予定しています。詳細は別途お知らせしますので、よろしくお願いします。

### 《発達検査について》

\*就学前のお子さんについて、質問紙による発達検査を、希望のあるご家庭に実施します。詳細は別紙にてお知らせしておりますが、今後、年 1 回実施することで、お子さんの成長と課題を一緒に確認していきたいと思えます。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

## マカロンクラスの1月あれこれ



年が明け、世の中何となく来春へ気持ちが向いているようですが…、マカロンクラスは、今の子ども達の姿から、明日につながる力もしっかり育てていけるように、笑い声と共に日々を過ごしていきたいと思ひます。

「選ぶこと」をねらいにプラスした巧技台の設定では、「ハシゴとビーム、どちらにする？」を写真カードと共に問いかけます。迷わず選ぶ子、少し戸惑う子、両方取る子、と様々な姿が見られます。“人生は取捨選択の連続!!”なんて壮大な課題ではないですが(笑)、小さい頃からの“考えて選ぶ・決める”という体験は、きっと積み重なっていくのだろうなと思ひます。例え、一つひとつは小さいことかもしれませんが、自分で選択し、そのことに向かって頑張り、その結果を受け止めてもらい成功体験を感じることが、自信につながり、意欲を芽生えさせ、次への頑張りの源になるといいなと思ひます。

巧技台運動だけではなく、他の活動や日々の生活の中でも、「選ぶ」経験を重ねていきたいと思ひます。

## プリンクラスの1月あれこれ



1月から新しいお友達もさらに2名増え、益々にぎやかなプリンクラスです。朝の会で定番になっている“楽器&今月の歌”は、続けてきたことで、みんなで合わせて楽器を振るのが上手になってきました。歌い終わると、みんなポンポンと箱の中にお片付け、また、歌が月ごとに替わることにも慣れ、毎朝の楽しみになっています。

まだまだ寒い季節が続きますが、2月も元気に楽しく過ごしましょう！  
2月の歌は、『いとまきのうた』です。

## 放デイのひとり言



みなさん今年はどんなスタートを切りましたか？

さっそくですが、放デイのはじまりの会も少し変えてみました。

今日の予定などを発表する前に、ビンゴゲームの登場です。数字が書かれたカードではなく、『今日のビンゴ』は、いろいろな表情をした顔の絵や、子ども達の知っているいろいろな物(品名付き)に変わっています。みんなの、「おや〜」「なんだこれ？」といった顔が、とても新鮮です。

通常のビンゴゲームのように、縦・横・斜めが完成すれば「ビンゴ！」です。絵や文字を探し、「あった！」と言いながらシールを貼っていきます。

集中した真剣な顔が、とても微笑ましい、にぎやかな放デイの1月スタートでした。

## 保育所等訪問支援の1月

寒い日が続き、体調不良や大雪の影響で、訪問先のお友達の人数も、日によってムラのある1月だったかもしれません。しかし、先生方の“雪かきパワー”はスゴイ！その勢いだけで雪が融けてしまうほどです。

というわけで、1月の訪問は、室内で過ごす時間が多くなりました。にぎやかな教室で過ごす楽しさもありますが、たくさん人がいる中では“パーソナルスペース”が作りにくく窮屈になることもあります。訪問している子ども達一人ひとり、姿は違いますが、この時期ならではの工夫が、その子なりに見られ、“言葉”とか“できるわかる”を超えた“上手くやっていく力”を見せてもらっています。先生方のナビゲートも素敵なんですよ。

担任の先生やお母さんとのお話の中でも、その子のこれまでの成長の軌跡を振り返る話が多くなってきました。手応えがみんなにあるって気持ちがいいですね。



### つながりリレーコラム

第12回目は、子育てプレイス奥富の 井口 涼子さんです。

60歳の退職後は、3歳までのお子さんが保護者の方と一緒に遊びに来る“子育てプレイス”に勤務しています。新しい職場(生活)は、まさにそれまでの人とのつながりの上に成り立っていると感じるような日々です。

さて、1月22日は予報通り的大雪。夕方には20センチぐらい積もり、仕事の帰りは徒歩の手段しかありませんでした。帽子、手袋をつけて長靴を履いて…、覚悟はしていたものの、自宅まで5キロの道のりを、普段クルマ通勤なのに、歩けるかなあ…。不安がいっぱいでした。もちろん体力には自信がありません。あたりは暗くなり、降りしきる雪を見ながら、「帰るしかない！」一大決心(大袈裟な)をして歩き出しました。歩道を歩いていると、向かい側からも歩行者が…。すれ違うときは、どちらかがよけるしかありません。

心と生まれ育った古里の雪国を思い出しました。幼少の頃は、現在のように常に雪道の整備がされるわけではなく、特に一日中雪が降っているようなときは、一人がやっと歩けるような細い道になるわけです。よけてもらおうと「ありがとう」「すみません」、よけたほうも「いいえ」「気を付けて」等と言葉を交わしました。寒くて真白い雪道を歩いていると、心が温かくなった記憶があります。

心が温かくなったこと、やってもらって嬉しかったこと、いつでもそっと、何気なく自然に次の人に伝えていくことも「つながる」「つなげる」ということなのかな、と大雪の日に思いました。

…ええ、1時間15分程かかりましたが、無事家に到着しました。

ちょっとした達成感を味わいましたよ。



### ☆お礼☆



赤ちゃん用のラック、チャイルドシート、たくさんのオモチャ、お茶等、今使いたかったもの欲しかったものを、リアルタイムでいただきました。毎日が気持ちよく過ごせ、笑顔になります。本当にありがとうございました！